



「あつらえの 人生だから 大事にし」

人生は出来合いのものではなく、ひとつひとつがその人のオリジナル。

だからこそ、その人の想いや人生を大切に、という思いを趣味の川柳にしました。

認知症の当事者 吉富節子さん

記憶力はなくなりました。でも戦時中の苦労は鮮明に覚えています。

私は戦時中に生まれ大変な苦労をしてきました。戦後も大変な苦労をして子育てや仕事を頑張ってきました。そんな私でも歳を重ねるごとにもの忘れをするようになり、いつか家族から「デイサービスに遊びに行ってみたら?」と言われるようになりました。

はじめは「なんで私がそんなところに」と思いました。でも家族の手前もあり、気は進みませんが1回だけ行ってみようと思いの「認知症カフェ」に参加しました。いざ行ってみると、集まる人がみんな笑顔でやさしく迎えてくれて、気づけば毎回参加するのが楽しみに。そして「私も認知症なんだ」と自覚するようになりました。

「認知症にはなりたくない」そう思っていたのですが、今では私をあたたかく迎え入れてくれるスタッフの方や地域の方、そしてこんな機会を与えてくれて私を除け者にせず「ばあちゃん、ばあちゃん」と大切にしてくれる家族に本当に感謝しています。

「認知症を人に知られたくない」ほとんどの方はそう思うに違いありません。でも周りの人はあたたかく迎え入れてくれます。皆さんも勇気を出して自宅から一歩踏み出してみましょう!

目次

- 認知症と上手く付き合うための3か条 ……1ページ
- 認知症とは～種類・症状と接し方のポイント ……2～3ページ
- 状態に合わせた対応と支援 初期編から重度編 ……4～5ページ
- 進行に応じたサービス ……6～7ページ
- 「認知症」早期発見のめやす ……8ページ
- 認知症Q&A ……9ページ
- 相談窓口 ……10ページ